

# 人権教育指導資料

## 各教科の授業における 人権学習 展開事例集

- 音楽、図画工作、美術、体育、保健体育、家庭、技術・家庭 編 -

平成19年3月

栃木県教育委員会事務局学校教育課

## はじめに

栃木県教育委員会が平成14年度にそれまでの同和教育を人権教育として再構築し、推進することとしてから今年度で5年目となります。この間、各学校においては全体計画や指導方法の工夫・改善、校内研修の充実等に御尽力いただき、すべての学校すべての地域で人権教育を推進しているところです。

また、県教育委員会では昭和55年から指導資料を計画的に作成し、指導者の資質の向上に努めてまいりました。昨年度は、国語、社会、算数・数学、理科、外国語（英語）、生活の授業における人権問題に関連する学習内容・学習活動の実践について、具体的に示すことをねらいとした展開事例集を作成いたしました。

今年度は、音楽、図画工作、美術、体育、保健体育、家庭、技術・家庭の授業における実践について、昨年度と同様に展開事例集を作成いたしました。各教科のそれぞれの特質に応じて、人権一般及び様々な人権問題を計画的に学習できるよう、各教科の指導計画の作成や授業の実践の際に、本資料及びこれまでに発行された資料を参考にさせていただきたいと思えます。

最後に、御多忙の中、本資料の作成に御尽力くださいました委員の皆様、に心からお礼を申し上げます。

平成19年3月

栃木県教育委員会事務局

学校教育課長 宇田 貞夫

# 目 次

はじめに

## 第 1 章 本資料の活用について \_\_\_\_\_ 1

1 本資料の作成方針 ..... 1

2 本資料活用に当たっての留意点 ..... 1

3 展開事例の構成 ..... 2

## 第 2 章 各教科の授業における人権学習展開事例 —— 3

### 【音 楽】

小学校 ..... 4

中学校 ..... 8

### 【図画工作、美術】

小学校 ..... 13

中学校 ..... 19

### 【体育、保健体育】

小学校 ..... 26

中学校 ..... 35

### 【家庭、技術・家庭】

小学校 ..... 42

中学校 ..... 49

## 第 3 章 各学校で人権教育を推進するために —— 62 (これまでに発行された指導資料の活用)

おわりに

# 第1章 本資料の活用について

## 1 本資料の作成方針

学校教育においては、児童生徒の発達段階に即し、社会生活を営む上で必要な人権に関する知識、技能、態度などを身に付けられるよう、すべての授業の中に人権教育を機能させることが大切です。人権教育に配慮した授業は、間接的指導のタイプと直接的指導のタイプの2種類が考えられ、各教科等の特質や児童生徒の実態に応じて適切に実践していくことが望まれます。各学校では様々な工夫がなされているところですが、実際には、各教科で直接的指導のタイプの授業を実践する際に、人権一般及び様々な人権問題にかかわるねらいや内容をどの程度扱ったらよいかなどの課題も生じてきています。

そこで昨年度は、各教科の授業において、教科のねらいを達成する中で人権一般及び様々な人権問題に関連する学習をどのように展開していったらよいか、「国語」「社会」「算数、数学」「理科」「外国語（英語）」「生活」について事例を示す資料を作成しました。今年度は「音楽」、「図画工作、美術」、「体育、保健体育」、「家庭、技術・家庭」の4教科について、昨年度と同様に事例を示す資料を作成しました。

## 2 本資料活用に当たっての留意点

本資料は、人権教育指導資料「人権問題に関連する学習内容・学習活動一覧」(平成17年3月)に示された各教科の学習内容・活動などを、実際の授業で実践するために、ねらいや具体的な資料、指導の工夫等を展開事例として示したものです。

各学校においては、本資料に掲載されている事例を網羅的に実践するというのではなく、各学校・児童生徒の実情に応じて工夫して活用し、各教科の授業における人権教育の充実に役立ててください。

また、本資料は、人権一般及び様々な人権問題に関する内容を各教科の授業でどう扱うかに主眼をおいて編集されているため、児童生徒の学習状況の評価については掲載しておりません。実践に当たっては、教科の学習状況の評価も含めて学習指導の充実を図ってください。

### 3 展開事例の構成

本資料の展開事例は、以下のような構成で作成されています。

学校種、教科、学年、本時で扱う人権問題を示しています。

- 1 教材名・題材名・単元名  
本時の授業にかかわる教材、題材、または本時が含まれる単元名を、各教科の特性やそれぞれの授業の扱いに応じて示しています。
- 2 本時の目標  
それぞれの教科における本時の指導の目標を示しています。
- 3 人権教育の視点  
本時の授業を行うに当たって、どのような人権に関する内容を取り扱い、どのような能力・態度を育成しようとしているのかを示しています。
- 4 生かしたい児童生徒  
本資料では、授業で生かしたい児童生徒の具体例を示しています。実践に当たっては、実際の各学級の実態に応じて生かしたい児童生徒を設定し、指導の充実を図ることが大切です。
- 5 展開例（略案）  
各教科の授業を実践していく中で、人権教育と関連した学習活動・内容の部分を太字で示しています。  
また、本時が単元全体のどの位置に当たるか説明が必要な事例については、指導上の留意点に示しています。
- 6 資料  
本時の展開に必要な資料は、基本的には掲載するようにしていますが、教科書を活用したり、著作権等により掲載が困難であったりするものについては、資料名やホームページのアドレス等で示しています。

#### 【ワークシート】

本時の授業を展開するに当たり、特に人権に関する学習活動でワークシートを活用する事例については、各事例の最後にワークシートを掲載しています。学習状況に応じて適宜修正しながら活用してください。



## 第2章 各教科の授業における 人権学習展開事例

### 音楽

- 小学校 第3学年「音楽に合わせて」(障害者) P4  
第6学年「世界の国々の音楽」(外国人) P6
- 中学校 第1学年「日本の楽器の響き」(障害者) P8  
第2学年「合唱(ア・カペラ)の響き」(外国人) P10

### 図画工作、美術

- 小学校 第6学年「きょうかしょびじゅつかん」(人権一般：平和・環境) P13  
第6学年「ぞうけいずかん」(高齢者・障害者) P16
- 中学校 第2学年「伝達のデザイン(シンボルマーク)」(子ども・外国人) P19  
第2学年「これからのデザイン」(子ども・高齢者・障害者) P21  
第3学年「PEACE + FRIENDS-平和へのメッセージ-」(人権一般：平和) P23

### 体育、保健体育

- 小学校 第4学年「大きくなったわたしの体」(人権一般：個人の尊重) P26  
第4学年「体の中でも始まっている変化」(人権一般：個人の尊重・生命の尊重) P29  
第5学年「不安やなやみをかかえたとき」(人権一般：個人の尊重) P32
- 中学校 第3学年「エイズ及び性感染症の予防」(HIV感染者等) P35  
第3学年「ともに健康に生きる社会」(人権一般：基本的人権) P39

### 家庭、技術・家庭

- 小学校 第5学年「一日の生活を見つめてみよう」(女性) P42  
第5学年「家族とのふれあいを楽しもう」(高齢者) P45  
第6学年「自分の生活や地域の生活を見つめてみよう」(高齢者) P47
- 中学校 A技術とものづくり「技術とものづくりの未来」(人権一般：環境) P49  
A技術とものづくり「工夫することのすばらしさを知ろう」(高齢者・障害者) P52  
B情報とコンピュータ「情報伝達の安全性とマナーを考えよう」(人権一般：インターネット) P54
- A生活の自立と衣食住「住まいへの願いを確かめよう」(高齢者・障害者) P57  
B家族と家庭生活「消費者を守るしくみを知ろう」(人権一般：基本的人権) P59



小学校音楽科 第3学年 障害者

1 題材名 音楽に合わせて

2 本時の目標

歌詞のもつリズムや言葉の抑揚などに気をつけながら、拍の流れにのって表現することができる。

3 人権教育の視点

聴覚に障害のある人と伝え合うことができる方法の一つに手話があることに気付かせる。(知性)

4 生かしたい児童

A：人権作文で、聴覚に障害のある人は手話を通して会話することについて書いていた。A児に手話について発表させることにより、クラスの児童にも障害について考えさせると共に手話について理解する機会をもたせたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>手の動きや口の開け方を工夫し、「大きな歌」を曲の流れに合わせて歌おう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時で学習した「歌えバンバン」を歌わせることによって、どんなところに気をつけて歌ったか確認させ本時のねらいを確認する。</li> </ul>
<p>2 CDを聴いて、教師と児童で輪唱する。</p> <p>(1) 範唱を聴き、曲の感じをつかむ。</p> <p>(2) 教師の後に続いて歌い、拍の流れにのって歌う。</p>	【資料1】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示した楽譜の手話の部分は見えないようにしておく。</li> </ul>
<p>3 手話クイズに答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ねこ</li> <li>・ 本</li> <li>・ パナナ</li> <li>・ かぜをひく</li> </ul>	【資料2】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師が手話のクイズを出題し、手話に興味をもたせる。 手話についてA児に発表させ、手話は聴覚障害者にとってのコミュニケーション手段であることを理解させる。</li> <li>・ 本時は、新たに手話を使って歌うことを知らせる。</li> </ul>

<p>4 手話を取り入れながら歌う。</p> <p>(1) 教師の手話の手本を見る。</p> <p>(2) 教師と一緒に、実際に手話をやってみる。</p> <p>(3) 曲に合わせて歌いながら、手話を取り入れる。</p>	<p>【資料1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 掲示した楽譜の手話の部分を歌詞に合わせて掲示する。</li> <li>・ 手話は、手の動きだけでなく口の形も同時に読み取るため、口もはっきりと動かさなければいけないことにも気付かせる。</li> </ul>
<p>5 2グループに分かれて輪唱する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 向かい合って歌うことで、友だちのよいところに気付かせ、自分の表現をよりよく工夫させる。</li> </ul>

6 資料

【資料1】

教科書 新しい音楽3 (東京書籍) P6 手話のついた楽譜(掲示用に拡大して作成)

【資料2】



【ワークシート】

「大きな歌」を手話を使って歌ってみて

3年 組 氏名 \_\_\_\_\_

「大きな歌」を歌って、くふうしたところを書きましょう。

<p>歌でくふうしたところ</p>	<p>(例) 口をしっかりとあけて、歌いました。</p>
<p>手話でくふうしたところ</p>	<p>(例) 「大きな」というところを大きく手を動かしました。</p>



小学校音楽科 第6学年 外国人

1 題材名 世界の国々の音楽

2 本時の目標

世界のいろいろな音楽の旋律や響きの特徴をとらえて、それぞれの国の音楽のよさを感じ取ることができる。

3 人権教育の視点

それぞれの国の音楽から感じ取った楽器の響きや音楽の雰囲気、特徴から、それぞれの国の文化の多様性に気付かせる。(感受性)

4 生かしたい児童

A：5年生で扱った「アジアの音楽」を学習したとき、A児は、図書室の本やインターネットで自主的に調べ、資料を豊富に収集していた。ねらいを確認する段階で意図的に発表させることにより、クラスの児童に昨年の学習を想起させたい。また、アジア以外の世界の国々の音楽についても興味をもつきっかけとさせたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">世界の国々の音楽を鑑賞し、それぞれの旋律や響きの特徴と、そのよさを感じ取ろう。</p> </div>		<p>A児にアジアの音楽について発表させ、クラスの児童に世界の国々の音楽について興味をもたせる。</p>
<p>2 鑑賞用CDを聴き、それぞれの国の音楽のイメージを膨らませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どの国の音楽か</li> <li>・ どんな楽器か</li> <li>・ どんな演奏形態か</li> </ul>	<p>【資料1】 【資料2】 教師が用意した映像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界の国々の文化等が分かる写真や映像を参考資料として用意する。</li> <li>・ 教科書の写真や教師が用意した映像を見ながら鑑賞させ、その国の音楽の特徴となっている楽器や演奏形態などに興味をもたせるようにする。</li> </ul>
<p>3 感じ取った音楽の特徴をワークシートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器の音色</li> <li>・ 歌声の響き</li> <li>・ 音楽の雰囲気</li> </ul>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・地域名は、世界地図と対応させる。</li> </ul>
<p>4 記入したことをもとに、それぞれの国の音楽の特徴やよさを発表し合う。</p>		<p>どんな意見も肯定的に受け止め、その国の音楽のよさを見つけられるようにするとともに音楽観を広げられるようにする。</p>

		・ 友だちの発言を聞いて、なるほどと感じたことは書き足してよいことにする。
--	--	---------------------------------------

6 資料

【資料1】 参考図書・・・「世界各地の暮らし」(ポプラ社)  
「世界の民族音楽1～6」(ポプラ社)

【資料2】 教科書会社のホームページにある「世界の音楽」の映像等

【ワークシート】 **世界の音楽** 6年 組 氏名

曲名	国・地域	演奏楽器・形態等	楽器の音色、歌声の響き、音楽の雰囲気を感じたこと
アメージング グレース	イ ギ リ ス	バグパイプの 演奏	
オバタラ	ガ ー ナ	トーキング ドラム	
わたしの馬は 恋をした	ス ペ イ ン	フラメンコ	
カリンカ	ロ シ ア	バラライカ	
アロハオエ	ハ ワ 諸 イ 島	ハワイアン ミュージック	
南部教会の 音楽	ア メ リ カ	ゴスペル	
コンドルは 飛んで行く	ペ ボ ル リ ー ビ ア	フォルク ローレ	

\* 国・地域名は、世界地図と対応させてみましょう。

中学校音楽科 第1学年 障害者

1 題材名 日本の楽器の響き

2 本時の目標

日本の伝統音楽である箏の音色や奏法の特徴を感じ取ることができる。

3 人権教育の視点

盲目の人たちの気持ちや箏曲を作曲した偉大さについて思いをはせ、大変な努力のかいあって曲が生まれてきたことに共感することができる。(感受性)

4 生かしたい生徒

A：生活面では、自己中心的な面が見られ、差別的な言動をとることがある。本時では、障害のある人々の立場に立って考えることにより、相手の立場やお互いの考えを認め合える力をつけていきたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>我が国の伝統的な楽器である箏の独特な音色や奏法を感じ取ろう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>「六段の調べ」を鑑賞することを通して、箏の音色や奏法の特徴を感じ取ることを説明する。</li> </ul>
<p>2 箏曲「六段の調べ」を鑑賞する。</p>	C D	<ul style="list-style-type: none"> <li>箏の音色や奏法の特徴を感じながら鑑賞させる。</li> </ul>
<p>3 目隠しをして箏に触れ、気付いたことを発表し、盲目の人が箏曲を作曲したことについて話し合う。</p>	目隠しをするもの (アイマスク等) 【資料1】	<p>目隠しをすることにより、箏に慣れて演奏するまでには、相当な努力が必要であったことに気付かせたい。</p> <p>検校の資料からわかったことを発表させ、関心を高めたい。</p> <p>盲目の人がどのように作曲をしたかを予想させる。</p> <p>生徒 A に感想を発表させることにより、障害のある人々の気持ちについて考えさせる。</p>
<p>4 再度「六段の調べ」を鑑賞し、感想をまとめる。</p>	C D 【ワークシート】	<p>盲目の人が作曲したことに対する感想についてもまとめさせる。</p>

## 6 資料

### 【資料1】

やつはし けんぎょう

# 八橋 検校 について

(1614年～1685年)

「六段の調べ」を作曲した八橋検校は、現在の福島県いわき市で生まれた。幼少期に失明後、大坂や江戸で、箏や三味線を学んだ。後に京都に移り、箏の演奏家として活躍した。八橋はそれまでの箏や三味線を土台にしながらも、平調子という箏の調弦法や、段物という曲の形式など、今日に伝わる箏曲の基礎を築いた。

検校・・・当時、目の不自由な音楽家たちが所属した職業組織での最高の職位。八橋検校は25歳ごろ検校になったといわれている。

段物・・・箏曲の場合、いくつかの部分から構成される器楽曲をさし、それぞれの部分を「段」と呼ぶ。六段、八段、九段などの曲がある。それぞれの段の長さは、原則として、初段を除き、104拍になっている。

### 検校の肖像画

「中学音楽2・3上」教育出版  
25ページ参照

「中学音楽2・3下」教育出版  
69ページ参照

### 【ワークシート】

## 日本の楽器の響き

1年 組 氏名

ねらい

箏の音色や奏法の特徴を感じ取ろう。

曲名	「六段の調べ」	作曲者	八橋検校
----	---------	-----	------

箏曲「六段の調べ」を鑑賞し、箏の音色や奏法、全体の感想についてまとめよう。また、盲目の八橋検校が作曲したことについても、感想を書こう。

中学校音楽科 第2学年 外国人

- 1 題材名 合唱（ア・カペラ）の響き
- 2 本時の目標  
合唱の原点といわれる「ア・カペラ」の魅力を味わうことができる。
- 3 人権教育の視点  
ゴスペル音楽の起源を知ることにより、困難に負けずに力強く生き抜いてきた人々の思いを感じることができる。（感受性）
- 4 生かしたい生徒  
A：生活面では、自己中心的な面が見られ、差別的な言動をとることがある。本時では、差別を受けた人々の思いに共感させることにより、相手の立場やお互いの考えを認め合える力を付けていきたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">ア・カペラの曲を聴き比べ、それぞれの曲の旋律、ハーモニー、リズム、雰囲気などの特徴を感じ取り、その魅力を味わおう。</p> </div>	【資料】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ア・カペラ」について説明し、合唱の原点といわれる「ア・カペラ」に関心をもたせる。</li> </ul>
<p>2 「アメイジンググレース」「花輪をかけよ」「ピレンツェの歌」「ヴォルガの舟歌」を鑑賞し、感じたことを話し合う。</p>	CD 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの歌曲の特徴を味わわせながら鑑賞させる。</li> </ul>
<p>3 ゴスペル音楽と「アメイジンググレース」についての説明を聞き、わかったことを発表する。</p>	【資料】 【ワークシート】	<p style="text-align: center;">ゴスペル音楽と「アメイジンググレース」の曲について説明し、この曲が作られるまでの過程を理解させる。</p>
<p>4 再度「アメイジンググレース」を鑑賞し、感想を発表する。</p>		<p style="text-align: center;">ゴスペル音楽を歌い継いできた人々の思いを考えながら、曲を鑑賞させる。 鑑賞を生徒Aに発表させることにより、差別を受けた人々の思いを感じ取らせる。</p>

## 6 資料

### 【資料1】 「ア・カペラ」について

「ア・カペラ (a cappella)」は、もともと「聖堂ふうに」あるいは「礼拝堂ふうに」という意味をもち、教会で歌われる合唱のことを指していた。現在では一般に、無伴奏の合唱のことをア・カペラと呼んでいる。

### 【資料2】 ゴスペル音楽について

#### ゴスペル音楽の起源

ゴスペル音楽の起源は、アメリカの黒人の歴史と文化の中にある。

アフリカから奴隷として新大陸に連れてこられた黒人は、牛馬のように売買され、その後は綿花やたばこ畑で過酷な労働を強いられるようになった。ゴスペル音楽は、その人々が単調な作業をしながら口ずさんだ音楽に端を発する。その歌がキリスト教と出会うことを通して、いわゆる黒人霊歌が生まれた。

キリスト信仰に救いを見出した人々は、教会で（特に賛美歌を歌うことにおいて）その救いの喜びや神様への祈りを、独自の音楽スタイルで表すようになっていった。このような時代の流れの中でゴスペル音楽は生まれたのである。

#### ゴスペルの語源について

ゴスペルの語源は「GOD」と「SPELL」という2つの言葉である。この二つの言葉から「GOSPEL」という言葉ができた。つまり、神様の言葉という意味である。この神をほめたたえること、感謝をささげること、そして福音を伝えることがゴスペルであり、ゴスペルミュージックの本当の意味である。

#### 「アメイジンググレース」について

作詞者はジョン・ニュートン。作曲者は不詳。

ジョン・ニュートンは1725年イギリスに生まれた。母親は熱心なクリスチャンであったが、彼が7才の時に亡くなった。成長したジョンは黒人奴隷を輸送するいわゆる「奴隷貿易」の船乗りとなった。当時、奴隷として拉致された黒人への扱いは人権を無視したものであり、輸送に用いられる船内の衛生環境は劣悪であった。このため多くの者が輸送先に到着する前に、感染症や脱水症状、栄養失調などが原因で死亡したと言われる。ジョンもまたこのようなことを行ってきたが、22歳の時、船が嵐に遭い、非常に危険な状況の中、神に祈り、難を逃れた。彼はその後も16年間奴隷輸送を行ったが、彼の奴隷への待遇は飛躍的に改善された。1755年、船をおりたジョンは、勉学を重ねて神父となり、1765年「アメイジンググレース」が生まれた。この曲には、黒人奴隷に関わったことに対する深い悔恨と、それにもかかわらず、ゆるしを与えた神の愛に対する感謝が込められている。

#### 「アメイジンググレース」(驚くべき恵み)の歌詞の意味

驚くばかりの恵みよ なんと優しい響きであろう  
私のような卑劣な者をも 救いたもうとは  
私は神から迷い失われた者であった 今は見いだされた  
盲目であったが今は見える  
多くの危険、罪、そして誘惑を私達は乗り越えてきた  
私達をここまで無事に導いてきたのは恵み 恵みは私を家路へと導いてくれる

# 合唱（ア・カペラ）の響き

2年 組 氏名

ねらい ア・カペラの曲を聴き比べ、その魅力を味わおう。

- 1 「ア・カペラ」の代表的な曲を鑑賞しよう。

曲名	曲の感じ・聴いた感想など
アメイジンググレース (作曲者不明)	
花輪をかけよ (ピアサル作曲)	
ピレンツェの歌 (ブルガリア民謡)	
ヴォルガの舟歌 (ロシア民謡)	

- 2 ゴスペル音楽と「アメイジンググレース」についての説明を聞き、わかったこと、感じたことなどをまとめよう。

- 3 再度「アメイジンググレース」を鑑賞し、感じたことをまとめよう。

小学校図画工作科 第6学年 人権一般（平和・環境）

- 1 題材名 きょうかしょびじゅつかん
- 2 本時の目標  
「キッズゲルニカ」の作品やアジアの子どもたちの作品のよさや美しさ、表現の意図に関心を持って鑑賞することができる。
- 3 人権教育の視点  
「キッズゲルニカ」の作品やアジアの子どもたちの作品を鑑賞し、それぞれの作品の平和や環境に対するメッセージを読み取り、共感することができる。（知性・感受性）
- 4 生かしたい児童  
A：感受性が豊かで日頃から自分の思いをみんなの前で発表することができる。学習活動4において発言を取り上げ、他の児童が考えを深めることに生かしていきたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 ピカソ「ゲルニカ」を鑑賞し、表現の工夫や作者が表現したかったことについて考える。  2 本時のねらいを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         日本やアジアの国々の子どもたちは、どんな願いを込めて絵を描いたのか考えよう。                     </div>	【資料1】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作品の大きさや色、「ゲルニカ」が描かれた時代背景や作者の思いについて簡単に補足説明した上で考えさせる。</li> <li>・ キッズゲルニカの活動内容や趣旨について説明する。</li> </ul>
3 キッズゲルニカの作品やアジアの子どもたちが描いた作品を鑑賞し、彼らの思いについて考える。 ・ 題材 ・ 何がどうなっていく様子が描かれているのか ・ 作品に込められている思い	【資料2】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鑑賞の視点を示したワークシートを用意する。 5枚の絵の中から自分の好きな絵を選び、その絵が表していることや作者の思いを考えワークシートにまとめさせる。</li> <li>・ 自分の考えをまとめにくい児童には、作者の思いに深く迫れるように、構図・色調・題材など読み取る視点を示し支援する。</li> </ul>
4 グループで話し合い、発表する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選んだ作品ごとにグルーピングする。</li> <li>・ 友達と意見交換することで、自分が気付かなかった友達の考えや読み取りのよさに気付くことができるよう支援する。</li> </ul>



5 本時のまとめをする。		<p>A児を指名し、考えを深めるきっかけとすると共に、どの発言も大切に受け取り上げ児童の感性を互いに認め合えるよう配慮する。</p> <p>それぞれの班の発表を聞くことによって、国が違って、平和や自然環境を大切にしようという願いは世界共通であることにも気付かせる。</p>
--------------	--	--

6 資料

【資料1】 教科書（図画工作 日本文教出版 P32）  
「ゲルニカ」

【資料2】 教科書（図画工作 日本文教出版 P32・33）  
「キッズゲルニカの世界」 「環境を考えて」

【ワークシート】

# きょうかしよびじゅつかん

6年 組

作者はこの絵にどんな願いをこめたのか、考えよう。

選んだ絵	
【絵を読み取ろう】(なにが、どうなっているかな?色や形はどうか?) (自分の考え)	(友だちの考え)
【作者の願い】(絵にどんな願いをこめたのかな?) (自分の考え)	(友だちの考え)

学習を振り返って

--

小学校図画工作科 第6学年 高齢者・障害者

1 題材名 ぞうけいずかん

2 本時の目標

マークや標識は、だれにでも分かりやすいように色や形が工夫されていることに気付くことができる。

3 人権教育の視点

マークや標識、身の回りのものなどには、障害者や高齢者などに配慮したものが多くあることに気付かせる。(知性・感受性)

4 生かしたい児童

A：前年度、総合的な学習の時間で福祉について学習し、街の中にある点字ブロックや点字表示について調べるなど、それらに対する関心が高い。学習活動3において総合的な学習の時間で学んだことを発表させ、全体の考えを深めさせたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 様々なマークや店の看板の写真を 見て、何を示しているのかを考 える。</p> <p>2 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>マークや標識が伝えようとし ていることや、それを伝えるた めの工夫を考えよう。</p> </div>	【資料1】	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科書P37～P38にあるマークと看板 を一つずつ提示し考えさせることによ り、本時の活動に関心をもたせる。</li> </ul>
<p>3 マークや店の看板、標識が伝え ようとしていることや、それを伝 えるための工夫について、ワーク シートにまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>マーク</li> <li>店の看板</li> <li>動物園の案内</li> <li>点字絵本やサイコロ など</li> </ul>	【資料1】 【ワークシ ート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>用途や目的をわかりやすく伝えるため には、文字の説明より絵やマークがよい ことや、単純で象徴的な色や形がよいこ とに気付かせる。 「ウサギさんマーク」「盲導犬マーク」 「優先席サイン」について触れることで、 マークの中には、障害者や高齢者などに 配慮されたものもあることに気付かせ る。 マークに限らず、高齢者や障害者に配 慮された身の回りにあるものについて も、どんな工夫がされているかを考えさ せる。</li> </ul>

<p>4 本時のまとめをする。</p>		<p>A児を指名し、障害者のための形やマークについて、総合的な学習の時間での学習内容と関連づけて発表させる。</p> <p>文字の大きさや形状などに配慮したものは、障害者や高齢者などに使いやすいだけでなく、誰にでも使いやすいことについても補足する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の身の回りのマークや商品にも目を向けられるよう助言する。</li> </ul>
---------------------	--	---

## 6 資料

【資料1】教科書（日本文教出版 P 37～P 38）

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化マーク</li> <li>・とりあつかい注意マーク</li> <li>・ウサギさんマーク</li> <li>・盲導犬マーク</li> <li>・エコマーク</li> <li>・森林推進マーク</li> <li>・優先席サイン</li> <li>・フルーツパーラー、メガネ店、画材屋の各看板</li> </ul> |
|---|

【ワークシート】

# ぞうけいずかん -伝え合おう-

6年 組

教科書P37～P38にあるマークや標識、<sup>かんばん</sup>看板について、伝えたいことやそれを伝えるための工夫を考えよう。

マーク・標識・看板	伝えたいこと	工夫
<small>かんきょうびか</small> 環境美化マーク		
とりあつかい注意マーク		
ウサギさんマーク		
盲導犬マーク		
エコマーク		
<small>しんりんすいしん</small> 森林推進マーク		
<small>ゆうせん</small> 優先席サイン		

教科書P39にある身の回りのものについて、高齢者や障害者のための工夫を考えよう。

身の回りのもの	工夫

中学校美術科 第2学年 子ども・外国人

- 1 題材名 伝達のデザイン(シンボルマーク)
- 2 本時の目標
 

言葉の違う外国人やまだ文字の読めない子どもにも、伝えたい内容がよく分かるシンボルマークを工夫することができる。
- 3 人権教育の視点
 

分かりやすいシンボルマークを工夫させることで、言葉の違う外国人やまだ文字の読めない子どもなどの立場で考えることの大切さに気付かせる。(知性・感受性)
- 4 生かしたい生徒
 

A：発想が豊かで、細密描写などの技能も優れている。単純化や省略など、生徒Aの発想を発表させることにより、他の生徒の参考にさせたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 障害のある人のためのシンボルマークを見て、何を表しているのかを考える。  2 本時のねらいを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>外国人や子どもにも意味がよく伝わるシンボルマークを工夫しよう。</p> </div> 3 シンボルマークのアイデアスケッチをする。 ・テーマ：公共施設  4 クラス全体で友だちのアイデアスケッチの鑑賞会を行い、作品のよいと思った点・工夫が見られる点をまとめ、発表する。 ・分かりやすさ ・形の単純化や強調 ・効果的な配色の工夫  5 友だちからのアドバイスを参考にしながらスケッチを進める。  6 本時のまとめをする。	【資料1】          鑑賞カード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある人のためのシンボルマークであることは告げずに生徒から意見を引き出す。</li> <li>・ 本時のねらいを提示し、学習内容を確認させる。 外国人や子どもにも、伝えたい情報を知らせることができるシンボルマークを工夫することを確認する。 情報が視覚的に伝わるよう単純化や省略などの工夫をさせる。</li> <li>・ 鑑賞のポイントを明確にしてから鑑賞会を行う。 外国人や子どもの視点でも作品を鑑賞させ、工夫が見られる点を発表させる。 生徒Aのスケッチを示し、生徒Aの発想を発表させ、他の参考にさせる。</li> <li>・ 作品のよさは、ひとつではないことを改めて確認してからスケッチの続きを描かせる。</li> </ul>

6 資料

【資料1】



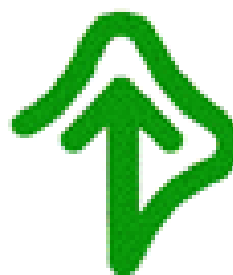
障害者のための国際シンボルマーク



盲人のための国際シンボルマーク



聴覚障害者シンボルマーク  
(国際マーク)



聴覚障害者シンボルマーク  
(国内マーク)

【参考資料】 埼玉県のホームページ

<http://www.pref.saitama.lg.jp/A03/BE00/symbolmark/symbolmark.html>

中学校美術科 第2学年 子ども・高齢者・障害者

- 1 題材名 これからのデザイン
- 2 本時の目標  
自分のまわりにある道具・文房具についてユニバーサルデザインの視点から問題点と解決策を考えることができる。
- 3 人権教育の視点  
誰もが暮らしやすい社会について、ユニバーサルデザインの視点から考えようとする態度を育てる。(実践力)
- 4 生かしたい生徒  
A：福祉施設でボランティア活動を行ったことがあり、そこでの体験談やユニバーサルデザインのいくつかの事例を紹介してもらうことにより、他の生徒の関心を高めたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 ユニバーサルデザインのいくつかの事例を鑑賞し、デザインのコンセプトを知る。  2 学習のねらいを知る。 身の回りにある道具や文房具について、使いにくい点とその解決策を考えよう。		生徒Aに、福祉施設での体験談やユニバーサルデザインのいくつかの事例を紹介してもらう。  ・ 「すべての人々が(子ども、高齢者、障害者の立場でも)使いやすいデザイン」というコンセプトは常に掲示しておく。
3 ユニバーサルデザインのコンセプトに照らして、身の回りにある道具や文房具の使いにくい点・問題点を見つける。	【ワークシート】	・ 子どもや高齢者の特徴、障害者の障害の部位や程度などを考慮させた上で問題点等を整理させる。  自分だったらどのような解決策を講じるかを考えさせる。
4 問題点を指摘した対象の中から各自一つを選び、解決策を考える。		・ できる限り簡単なイラストを描くようにさせる。
5 本時のまとめをし、次時の学習課題を確認する。		



【ワークシート】

## これからのデザイン

\_\_\_年\_\_\_組\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

	道具や文房具の名称	使いにくい点・問題点
1		
2		
3		

・より使い易く！上の中から問題点があるものについて、その解決策を考えてみましょう。

番号

の解決策

中学校美術科 第3学年 人権一般(平和)

- 1 題材名 PEACE + FRIENDS - 平和へのメッセージ -
- 2 本時の目標
 

小野純一とピカソの作品に対して自分の価値意識をもって批評し合い、よさや美しさを味わうことができる。
- 3 人権教育の視点
 

作者の平和への願いをメッセージとして伝えている作品を味わい、あらためて平和について考えさせる。(感受性)
- 4 生かしたい生徒
 

A：鑑賞の能力が高く、恥ずかしくがらずに自分の考えを発表することができる。学習活動3において生徒Aに考えを発表させ、他の生徒が考えを深めるための一助とさせたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のねらいを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             作品を鑑賞し、作品のテーマや作者の思いについて考えよう。           </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 芸術家は、様々なメッセージを絵や彫刻で表現して伝えてきたこと、そして本時では、二つの作品を鑑賞し、作品のテーマや作者の思いを考えることを伝える。(作品名や作者については、伏せておく。)</li> </ul>
2 2つの作品を鑑賞する。 (1) 小野純一の「PEACE + LOVEの女神」、ピカソの「ゲルニカ」を鑑賞する。 各自でワークシートにまとめる。 ・何が描かれているか ・どんな感じか ・どこから感じ取れるか 各自の感想をもとにグループで話し合う。	【資料1】 【資料2】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自の自由な発想をもとに記入させる。</li> </ul>
(2) 小野純一とピカソについて教師の説明を聞き、再度、感想をまとめる。	【資料1】 【資料2】 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 友達の発表から参考になるところを書き加えさせる。</li> <li>・ 二人の作品について補足・説明する。              二つの作品とも「平和」をテーマとした作品であることを踏まえて感想をまとめさせる。</li> </ul>

3 作品鑑賞を通してまとめた感想を発表し合う。		生徒 A を指名し、他の生徒が考えを深めるきっかけとさせる。 ・ 友達の見方や感じ方を尊重するようにさせる。
4 本時のまとめをする。	【ワークシート】	世代が違っても、「平和」への思いはいつでも変わらないことを補足する。

## 6 資料

【資料 1】教科書（開隆堂 美術 2・3 下 P 4・5）

【資料 2】美術資料（栃木県中学校美術教育研究会編「栃木県の美術」P 96～98）

### 【参考資料】

・小野純一（1989.9～）と「PEACE + LOVE の女神」について

大阪府生まれ。6歳のときにニューヨークを訪れ、自由の女神の前で描いた絵をきっかけにドローイングを発表する。テレビやCM、ポスターの制作、本表紙への作品提供などさまざまな分野で活躍中である。主な著書（作品集）に、「JUNICHI」「JUNICHI 2号」「JUNICHI - EURO」がある。

「PEACE + LOVE の女神」は、2001年（作者12歳）にアメリカで同時テロが起こった直後に制作された作品である。

・パブロ・ピカソ（1881～1973）と「ゲルニカ」について

スペイン生まれ。美術教師である父の学校で美術を学ぶ。1904年、最初のパリ旅行をし、その年以降、パリを本拠に活動するようになった。暗い青を主調とした「青の時代」、サーカスや旅芸人などを描いた「バラ色の時代」などを経て、現代絵画の出発点となる「アヴィニヨンの娘たち」を制作し、キュビズムを創始した。1973年に亡くなるまで、絵画をはじめ、彫刻、版画、陶芸など幅広い分野で活動した。

ゲルニカは、1937年（作者56歳）、スペインのゲルニカの町が爆撃された直後に制作された作品である。

【ワークシート】

PEACE + FRIENDS - 平和へのメッセージ -

\_\_\_年\_\_\_組\_\_\_番 氏名\_\_\_\_\_

1 次の二つの作品を鑑賞し、どんな思いがするか考えてみよう。

	「PEACE + LOVEの女神」 作者名( )	ゲルニカ 作者名( )
第一 印象		
友 だ ち の 考 え		
考 え が 深 ま っ た こ と		

2 本時の学習で学んだこと。

--

小学校体育科 第4学年 人権一般（個人の尊重）

- 1 題材名 大きくなったわたしの体
- 2 本時の目標  
身長や体重などは年齢に伴って変化することや、発育の仕方には個人差があることを理解することができる。
- 3 人権教育の視点  
発育の仕方の個人差を理解することを通して、一人一人の成長の違いと自分らしく生きていくことのすばらしさに気付かせる。（知性・感受性）
- 4 生かしたい児童  
A：身長順で整列する場合、入学当初から常に最前列に並び、身長の低いことを気にしている。本時では、「身長の伸び」のグラフ作成の中で、成長している自分に気付かせ、自信をもたせたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のねらいを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         1年生から4年生まで、わたしたちの身長はどのように伸びてきたのか調べよう。                     </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時は身長の伸びを中心に、自分の成長の様子を考えていくことを確認する。</li> </ul>
2 1年生から4年生までの身長の伸びを棒グラフに表す。	自分の身長が記録されている健康票 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康票の記録をもとに、一年ごとの身長の変化を表に記入させてから、棒グラフに表させる。</li> <li>・ 棒グラフの作成を通して、自分の身長の伸び方の変化に目を向けるよう助言する。</li> </ul>
3 提示された「身長の伸びの棒グラフ例」と自分のグラフを見比べて、気付いたことを発表する。	身長の伸びの棒グラフ例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 伸びの変化の大きいグラフや小さいグラフなど、特徴的な数種類の「身長の伸びの棒グラフ」を提示する。</li> <li>・ 自分のグラフと見比べさせ、身長の伸びの共通点や相違点に着目するよう助言する。</li> <li>・ 身長は誰も伸びていることとその伸び方は一様でなく、いろいろな伸び方があることに気付かせる。</li> </ul>

4 これからの自分の身長伸び方を予想して、グラフに表す。

5 養護教諭から体の発育の仕方に関する話を聞き、感想を発表する。

身長伸び方や伸びる時期には個人差があることを理解させ、自分の成長を肯定的にとらえることができるようにする。

個人差だけでなく、男子と女子の成長の仕方にも触れ、違いがあることを知らせる。

- ・ 教科書の成長例などをもとに、自分の身長が今後どのように伸びていくのかを予想させることによって、これからの発育への期待感を高める。
- ・ 大きくなるのは身長ばかりでなく、体重も、体の内部も発育していることに気付かせる。

発育する時期や発育の仕方には、一人一人違いがあることを知らせ、成長についての不安や心配を解消するよう助言する。

一人一人の成長の違いと自分らしく生きていくことのすばらしさを理解させたい。

【ワークシート】

大きくなったわたしの体

4年( )組 名前( )

(1) 身長の変化と伸び

< 身長の変化 >

1年生のときの身長	c m
2年生のときの身長	c m
3年生のときの身長	c m
4年生のときの身長	c m

< 身長の伸び >

(2年生) - (1年生)	c m
(3年生) - (2年生)	c m
(4年生) - (3年生)	c m

(2) 1年間の身長の伸び・・・はかりとった紙テープをはってみよう。

1年生 から 2年生	2年生 から 3年生	3年生 から 4年生	4年生 から 5年生	5年生 から 6年生	6年生 から 卒業まで

## 小学校体育科 第4学年 人権一般（個人の尊重・生命の尊重）

1 題材名 体の中でも始まっている変化

2 本時の目標

思春期になると、女子では初経、男子では精通が起こることや、思春期に起こるいろいろな体の変化は、誰にでも起こる大人の体に近づいているしるしであることを理解することができる。

3 人権教育の視点

思春期になると男女とも体の変化が起こり、その変化には個人差があることを理解させ、成長の違いに優劣の差はないことや、誰の体の中にも命のもとがあり、一人一人が大切な存在であることに気付かせる。（知性・感受性）

4 生かしたい児童

A：自分の発育をよく自覚し、明朗快活に生活している。A児の考えを発表の中で取り上げることにより、体の内部の変化を前向きにとらえる意識を学級全体に広げようようにしたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大人に近づくと、発毛や体つきなどの変化以外に体の中でどのような変化が起こるのか調べよう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの体つきの変化についての学習を想起させ、本時は体の中の変化について考えていくことを確認する。</li> </ul>
<p>2 大人になると体がどのように変わるのか知っていることを発表する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちが体の変化や性に関するもっている知識は、言葉だけの表面的な理解や思い込みになっている場合があることに気付かせ、体の内部の変化について正しく理解しようとする意識を高める。</li> </ul>
<p>3 内性器におこる変化について教科書で調べ、わかったことを発表する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月経や射精などの用語の説明だけでなく、おとなに近づくためのどのような変化であるのかという視点でも考えるよう助言する。</li> </ul>
<p>4 養護教諭から、男女の内性器のつくりやはたらきについての話を聞く。</p>	<p>月経や射精のしくみ等がわかる資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図解しながら児童の実態に応じてわかりやすい言葉で説明し、内性器の簡単なつくりやはたらきについて理解させる。</li> </ul>



5 本時の学習をもとに、考えたことや感じたことをまとめる。

思春期に起こる体の変化は、個人によって早い遅いがあるものの誰にでも起こることに気付かせ、他人と比べて悩んだり、不安に感じたりすることがないように配慮する。

A 児の考えを発表させ、体の変化を前向きにとらえさせる一助とする。

誰の体の中にも命のもとがあり、生命を受け継いでいくうえで、一人一人が大切な存在であることを認識させる。

体の中の変化は、生命を生み出すための変化であることを知らせ、男女がお互いの違いを認め合い、尊重しあおうとする気持ちをもたせる。

【ワークシート】

体の中でも始まっている変化

4年( )組 名前( )

体つきの変化が起こるころ、体の中はどのように変化しているのだろうか。

1 教科書を読んで、女子や男子の体の中の変化を調べよう。

< 女子の体の中の変化 >

1か月に1回ぐらいの間かくで、( )というところから( )が飛び出すようになります。

それにあわせて子宮の内側のまくは、栄養をたっぷりふくんだ血液であつくなります。しばらくすると、そのまくははがれて、ちつを通過して体の外に出されます。

これを( )といい、初めての( )を( )と言います。

< 男子の体の中の変化 >

いんけいがしげきを受けたときやねむっている間に、いんけいから白い液がとびだすことがあります。

これを( )といい、初めての( )を( )と言います。この白い液は( )といい、その中には、命のもとである( )が混ざっています。

2 今日の学習から考えたことや感じたことを書きましょう。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>
-------------------------------

小学校体育科 第5学年 人権一般（個人の尊重）

1 題材名 不安やなやみをかかえたとき

2 本時の目標

不安や悩みの対処には、大人や友だちに相談する、仲間と遊ぶ、運動をする、音楽を聞くなどいろいろな方法があることを理解し、自分に合った対処法を考えることができる。

3 人権教育の視点

思春期には誰でも不安や悩みを経験することやその悩みの程度、内容や受け止め方には個人差があることを理解させ、自分に合った対処法を見つけ、よりよい生き方を目指そうとする心情を育てる。（知性・感受性）

4 生かしたい児童

A：困難なことや失敗することがあっても常に明るく前向きに生活している。A児の発表を取り上げ、集団の中で自分らしくよりよい生き方を目指そうとする意識を学級全体に広げよう。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>不安や悩みを軽くしたりなくしたりするためには、どのような方法があるか考えよう。</p> </div> <p>2 クラスの悩みに関する実態調査結果を見て、友達はどのような不安や悩みなときにどのような不安や悩みで困った経験をしているのかを知る。</p>	<p>クラスの悩みの実態調査結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のねらいを提示し、今までの生活の中で、緊張したことや嬉しかったこと、悔しかったことなど、心の中に様々な変化があったことを思い起こさせ、自分自身のことをじっくり見つめていこうとする意識をもたせる。</li> <li>・ 事前にクラスで行った悩みに関する実態調査の結果を提示し、クラスの友達の不安や悩みの内容や傾向を考えさせる。 活動の場や内容が広がり、人とのかわりが多くなってくると、疑問に思うことや我慢しなければならないことが増えてくることや、誰もが不安や悩みを経験していることなど、思春期の心の特徴についても知らせる。</li> </ul>

<p>3 不安や悩みを抱えたとき、どうすればよいかをグループで話し合う。</p> <p>4 グループで出された内容を発表し、解決方法について話し合う。</p> <p>5 教師の説明を聞く。</p> <p>6 今日の学習から考えたことや、不安や悩みをもったとき、これからどのようにしたいと思うかをまとめ、発表する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気になることや心配事があったときはどのようにしているのか、自由な考えが出せるように記述式のワークシートを活用した小グループによる意見交換の場を設定する。</li> </ul> <p>悩みの程度、内容や受け止め方にも個人差があることを確認し、自分に合った対処法を見つけることが大切であることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表の中で不足していることを補足し、不安や悩みの対処には様々な方法があることを理解させる。</li> </ul> <p>A児のまとめを発表させ、集団の中で自分らしくよりよい生き方を目指そうとする意識を学級全体に広げる。</p> <p>思春期の心の変化は体の変化と同様に誰にでも起きることを知らせ、自分らしくよりよい生き方を目指そうとする気持ちを高める。</p>
--	-----------------	--

【ワークシート】

「不安やなやみをかかえたとき」

5年( )組 名前( )

不安やなやみをかかえたときは、どうすればよいかを考えよう。

- 1 不安やなやみをかかえたとき、あなたならどうしますか。自由に書いてみましょう。

-----
-----
-----

- 2 参考になる友だちのなやみの解決方法を書いてみましょう。

-----
-----
-----

- 3 今日の学習から考えたことや、不安やなやみをもったときこれからどのようにしたいと思うか書きましょう。

-----
-----
-----

中学校保健体育科 保健分野 第3学年 HIV感染者等

1 題材名 エイズ及び性感染症の予防

2 本時の目標

HIV感染者、エイズ患者の増加傾向とその低年齢化が社会問題化しており、エイズの疾病概念や感染経路を知り、予防方法を身に付ける必要があることが理解できる。

3 人権教育の視点

HIV感染者やエイズ患者に対する偏見や差別をなくし、共に生きていこうとする気持ちを育てる。(感受性)

4 生かしたい生徒

A：日常の生活において、やや自己中心的な行動が見られるが、自分の考えを素直に述べるができる。本時では、この生徒の意見を取り上げていきたい。また、エイズに対する偏見や差別があることを知ることで、相手の立場を尊重する気持ちを育てていきたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学習内容・活動	資料	指導上の留意点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>エイズとはどのような病気で、どのように感染するのか、予防するにはどうしたらよいか調べよう。</p> </div> <p>2 エイズとはどのような病気なのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病原体はHIVウイルスで、ウイルスが体内に侵入すると免疫機能(抵抗力)が働かなくなる病気であること。</li> <li>・ 感染してから発病するまでの期間が長いこと。</li> <li>・ 感染経路は、性行為による感染、血液による感染、母子感染の3つであること。</li> </ul>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒板に掲示することにより、本時の学習内容を明確にする。</li> <li>・ エイズも感染症の一つであることを説明する。</li> <li>・ 既習の「免疫のしくみ」について想起させる。</li> <li>・ 感染経路は3つに限られていて、精液や膣液、血液を介して感染することを確認する。</li> <li>・ 現在は、血液製剤は安全に処理されているので、感染の心配はないことを補足説明する。</li> <li>・ HIVは、感染力が弱いこと、皮膚からは感染しないことから、日常的な接触では感染しないことを確認する。</li> <li>・ もっとも多い感染経路は、異性間の性行為であり、若い世代の感染が急増していることに触れる。</li> </ul>

<p>3 日本におけるH I V感染者、エイズ患者はどのくらいいるのかを確認する。</p>	<p>【ワークシート】 H I V感染者エイズ患者数の推移のグラフ等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットで日本の現状についての資料を準備しておき、生徒に活用させる。</li> </ul>
<p>4 エイズの予防法について調べ、ワークシートにまとめる。</p> <p>(1) 予防についての知識をチェックリストを使って確認する。</p> <p>(2) 正しい予防方法について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性行為では、コンドームの使用が効果的であること。</li> <li>・ H I V感染の有無の調べ方。</li> </ul>	<p>【資料1】 (チェックリスト)</p> <p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染の有無は血液検査で分かり、保健所では無料、また、病院などの医療機関でも受けられることを伝える。</li> <li>・ エイズに関する相談は、都道府県のエイズ相談窓口や保健所等で行っており、秘密は守られ、他人に知られることはないことを知らせる。</li> </ul>
<p>5 資料2からエイズへの偏見や差別についての事例を把握し、共に生きていくために自分たちにできることを考える。</p>	<p>【資料2】 【ワークシート】</p>	<p>生徒Aを指名し、ワークシートに書かれた内容を尊重すると共に、他の生徒の考えを深めるきっかけとする。</p> <p>H I Vに感染した人が安心して生きていける社会を築くと共に、一緒に生活していくためには、人間尊重の精神をもつことが大切であることを知らせる。</p>

## 6 資料

### 【資料1】H I V感染予防に関する知識「チェックリスト」

#### - エイズについて正しく理解できていますか？ -

エイズは、H I Vによってうつる病気です。H I Vを体の中に持っている人を感染者といいます。正しい記述だと思うものに をつけてください。

- ( ) 感染者のふれた本や文房具を使っても、うつりません。
- ( ) 感染者の使った食器からは、うつりません。
- ( ) 感染者の体にふれたり握手したりしても、うつりません。
- ( ) 感染者のせきやくしゃみからは、うつりません。
- ( ) 感染者が使用した洋式トイレの便座に座っても、うつりません。
- ( ) 感染者といっしょにお風呂やプールに入っても、うつりません。
- ( ) 感染者をさした蚊にさされてもうつりません。

(資料：日本学校保健会『エイズに関する指導の手引き』)

## 【資料2】 エイズへの偏見とたたかった少年

アメリカにライアン・ホワイトという少年がいました。彼は小さいときに病気の治療のため注射した血液製剤でHIVウイルスに感染し、13歳のときにエイズを発症しました。このことを知った友だちの家族からの圧力で彼は学校に通えなくなり、自宅の電話で授業を受けることになりました。その後、地域の主任医療担当官が「登校しても他の生徒には影響しない」との裁定を下しましたが、登校当日になって半分近い生徒が学校を欠席するという事態になりました。そのため、ライアンの一家は、別の町に引っこすことになりました。

引っ越し先の学校は、生徒にエイズ教育を行ったうえで彼を受け入れたため、彼は学校に通うことができました。彼はアメリカ連邦議会で意見を求められ、「エイズ患者だって、健康な人と同じように充実した人生を送る権利があります。どうか差別も特別視もしないでください。」とうたえています。

彼は、エイズへの誤解と偏見の不当性をうったえ続け、5年余りの闘病生活を続けてきましたが、全米から相次いだはげましもむなく、1990年4月8日、18歳の生涯を閉じました。

## 【資料3】

エイズに関する情報の入手について

<http://api-net.jfap.or.jp/>

エイズ予防情報ネット

<http://www.jfap.or.jp>

(財)エイズ予防財団

<http://www.acc.go.jp/accmenu.htm>

エイズ治療・研究開発センター  
(国立国際医療センター)

<http://www.hokenkai.or.jp>

財団法人 日本学校保健会



## エイズ及び性感染症の予防

3年 組 氏名( \_\_\_\_\_ )

### エイズについての理解を深めよう。

- 1 エイズとは一体どのような病気なのか、教科書を読んでまとめよう。

エイズ・・・( \_\_\_\_\_ )というウイルスの感染によって起こる感染症。

- ・( \_\_\_\_\_ )の働きを低下させる。感染者の( \_\_\_\_\_ )や( \_\_\_\_\_ )、( \_\_\_\_\_ )に多く含まれている。
- ・感染して発病まで、( \_\_\_\_\_ )の期間がある。初期の段階で、かぜのような症状が出る人もいるが、たいていは( \_\_\_\_\_ )のまま経過する。その間に免疫はゆっくりと低下していく。
- ・発病すると、さまざまな( \_\_\_\_\_ )や( \_\_\_\_\_ )にかかりやすくなる。
- ・感染経路・・・( \_\_\_\_\_ )による感染、( \_\_\_\_\_ )による感染、( \_\_\_\_\_ )による感染の3つである。

- 2 HIV感染者、エイズ患者数の推移のグラフから分かることをまとめよう。

\_\_\_\_\_

- 3 HIVに感染しないため、また、感染させないためにできることを教科書から抜き出そう。

\_\_\_\_\_

- 4 わたしたちがHIV感染者やエイズ患者に対して、今できることを書いてみよう。

\_\_\_\_\_

中学校保健体育科 保健分野 第3学年 人権一般（基本的人権）

1 題材名 とともに健康に生きる社会

2 本時の目標

- (1) 健康を守るための取組は、個人の努力と地域や社会的な活動との連携によって効果が上がることや、世界中の人々の支え合いが必要であることを理解することができる。
- (2) 国際社会の一員として、みんなの健康を守るために自分には何ができるかを考え、実践しようとする意欲をもつ。

3 人権教育の視点

人々の健康的な生活は、様々な人の支えがあって実現できるものであり、助け合いの精神が重要であることに気付かせる。（知性・判断力）また、世界中の人々の生活の現状に目を向け、関心を高めることにより、健康を守るための活動に積極的に参加しようとする態度を育てる。（実践力）

4 生かしたい生徒

A：リーダー的存在であり、地域のボランティア活動（老人ホーム訪問）にも意欲的に参加している。そのような体験を発表させることにより、この単元が身近なものであることを他の生徒にも理解させたり、地域から世界に目を向け、自分にできることを考えさせたりするきっかけとしたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習のねらいを理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>人々の健康を守るための施設や社会的活動について調べ、個人としてできることを考えよう。</p> </div>	教科書 【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒板に掲示することにより、本時の学習のねらいを明確にする。</li> </ul>
<p>2 健康を守るための個人の努力と社会的な活動について調べる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことから健康を保持増進するためには、個人の努力ばかりでなく、地域や社会の支援が必要であることをとらえさせる。</li> </ul>
<p>3 健康的な生活環境づくりについて、身近な具体例から考える。</p> <p>(1) ボランティア活動について体験や知っていることを発表し、健康的な環境づくりについての役割を考える。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒Aに今までに参加したことのあつるボランティア活動を発表させることにより、身近なところにボランティアが存在することに気付かせる。</li> <li>・ 1995年の阪神・淡路大震災の際にボランティアに参加した中学生の作文の一部を読み、ボランティア活動が果たした役割を考える。</li> </ul>

<p>(2) 身の回りで、バリアフリーやユニバーサルデザインの考えに基づいた町づくりがなされている例を発表する。</p>	<p>ユニバーサルデザインを利用した実物等</p>	<p>バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方が、誰もが健康に快適に生活できる環境づくりに生かされていることを理解させる。</p>
<p>(3) 外国からの支援や外国への支援について調べ、発表する。</p>	<p>【資料1】</p>	<p>・ 政府の援助だけでなく、多くの民間団体がボランティアとして活動し、きめ細かな援助を行っていることを理解させる。</p>
<p>4 すべての人々が健康であるためには、どのようなことが大切かを考える。</p>		
<p>(1) 世界保健機関憲章の前文の一文をワークシートに記入する。</p>	<p>【資料2】 【ワークシート】</p>	<p>健康に対する基本的概念であり、誰にも与えられている権利であるということ把握させる。</p>
<p>(2) すべての人々が健康であるために、自分にできることを、ワークシートに記入する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>自分たちにできることについて、意見を発表し合うことにより、みんなの健康を守るための活動に積極的に参加しようとする意欲を高める。</p>

## 6 資料

### 【資料1】

#### 民間団体による国際保健医療協力

民間団体による国際保健医療協力として、もっとも知られているのは「国際赤十字活動」である。赤十字活動は、スイスのアンリ・デュランによって提唱された。当初は、主として戦争負傷者の救護や治療、捕虜や非戦闘員の保護など、戦時下での博愛主義に基づく平和的な保健医療活動が中心であったが、やがて平時における保健医療活動にも力を入れ、幅広い活動を展開している。

このような政府組織によらない活動団体をNGOと呼び、政府の指示などを待たずに迅速に行動できる利点を生かして、国際的な保健医療活動を行っている。ノーベル平和賞を受賞した「国境なき医師団」や「アジア医師連絡協議会（AMDA：アムダ）」などがある。

他のNGOの例 日本国際ボランティアセンター <http://www.ngo-jvc.net/>  
日本ユニセフ協会 <http://www.unicef.or.jp/index.html>

### 【資料2】

#### 世界保健機関（World Health Organization）

世界保健機関は1948年に発足した国際連合の保健医療に関する専門機関である。世界保健機関の主要な業務は、国際的規模での人びとの健康水準の向上である。発展途上国における感染症対策や栄養対策を中心とした活動が展開されてきたが、これにとどまらず、非感染症対策、がん、精神保健、循環器疾患などについての国際的な調査・研究などが行われている。また、健康教育活動についても各国に専門職員を派遣するなどの活動に取り組んでいる。現在は「ヘルスプロモーション」を理念として活動が進められている。日本は世界保健機関の年間予算の約20%を負担している。

【ワークシート】

ともに健康に生きる社会

3年 組 氏名( )

自分にできることは何かを考え、国際社会の一員として様々な活動に積極的に参加しよう。

- 1 教科書を参考に、健康を守るために個人が行っていること、地域や社会が行っていることにはどのようなものがあるか、できるだけたくさんあげよう。

個人が行っていること

地域や社会が行っていること

- 2 世界保健機関憲章前文の一文を書き写そう。

- 3 すべての人々が健康であるために、国際社会の一員として、自分にできることは何かを考えてみよう。

**小学校家庭科 第5学年 女性**

- 1 題材名 一日の生活を見つめてみよう
- 2 本時の目標  
一日の生活を振り返って、自分の生活と家族のかかわりに関心をもつことができる。
- 3 人権教育の視点  
家庭の仕事が、一般的に女性の負担が大きくなっていることに気付かせ、家族みんなで協力して生活しようとする意欲を高める。(感受性)
- 4 生かしたい児童  
A：まわりのことによく気付き、家でもよく手伝いをする男児である。普段どんな気持ちで、家族のために家の仕事をしているのかを発表させ、他の児童にも男女が協力して働く大切さを意識させたい。
- 5 展開例(略案)

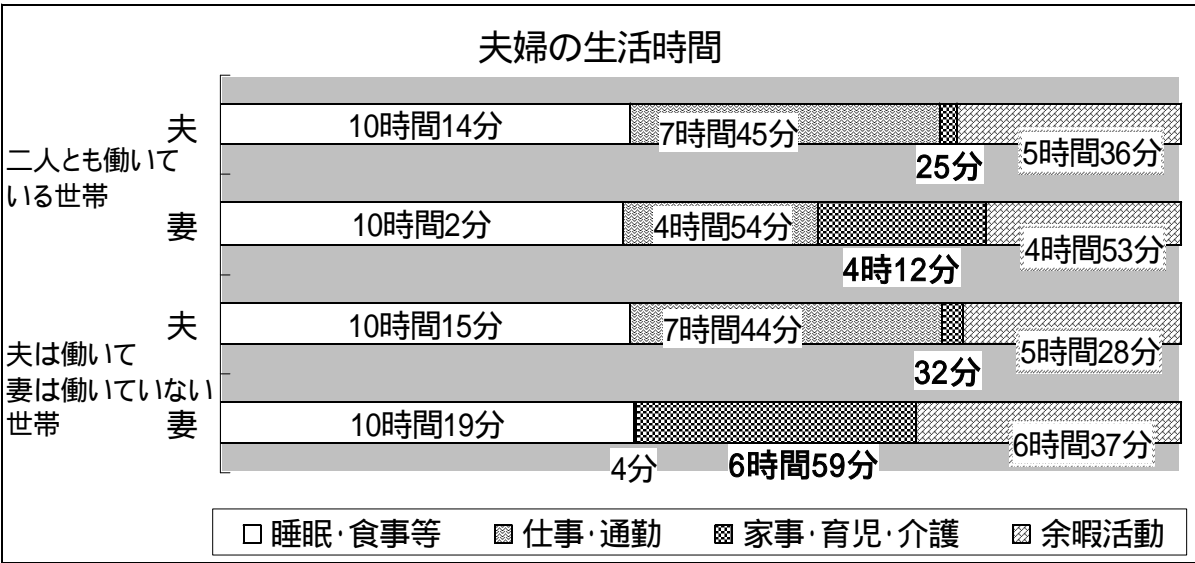
人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のねらいを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                         自分の一日の生活を振り返り、家庭の仕事とその役割について考えよう。                     </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活を振り返り、男性がしている仕事、女性がしている仕事をあげさせ、本時の学習への意欲を高める。</li> </ul>
2 自分の一日の生活を振り返り、朝から夜までの生活を日課表にまとめる。	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日課表の中で、自分の分担する家庭の仕事と家族とかかわりのある行動を色分けし、自分の行動が家族のために役立っていることや家族に助けられて生活していることに気付かせる。</li> </ul>
3 一日の生活の中で、自分のしていることと家族のしていることについて考える。	【ワークシート】	<p style="text-align: center;">誰がどんな仕事をしているか表に整理してまとめ、家族の役割分担の傾向や課題を考えさせる。</p>
4 資料から各家庭でだれがどのくらいの時間を家庭の仕事に費やしているのか、どのように家事を分担しているのかを読み取り、家庭の仕事の役割分担をどうしたらいいか話し合う。	【資料1】 【資料2】	<p style="text-align: center;">資料から、妻が家庭の仕事に費やす時間とその分担の量が多いことを読み取らせ、妻が担う負担の大きさに気付かせる。</p> <p style="text-align: center;">A児の考えを発表させ、それを参考にして、家庭での役割分担や自分ができることを考えさせる。</p>

<p>5 次時の学習課題を確認する。</p>	<p>男女の特性はあるものの、家族が協力することの大切さに気付かせ、自分も協力しようとする意欲をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時は、家庭生活の中で自分ができることを考え、計画を立てて実践していくことを話す。</li> </ul>
------------------------	---

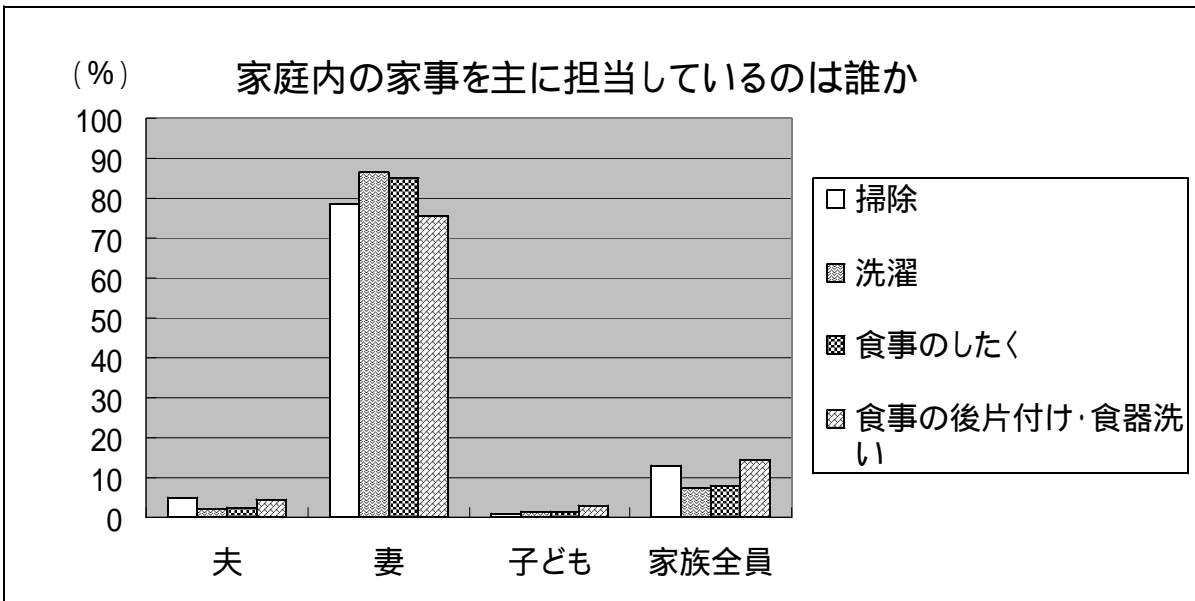
6 資料

【資料1】一日の生活の時間について



(内閣府男女共同参画局「男女共同参画平成18年度版」)

【資料2】家庭での家事の分担について



(内閣府男女共同参画局「男女共同参画平成16年度版」)

【ワークシート】

一日の生活を見つめてみよう

5年組 氏名( \_\_\_\_\_ )

自分の一日の生活を振り返り、家庭の仕事の分担について考えよう。

1 自分の一日の生活を日課表にまとめよう。

	6:00					12:00								19:00						23:00

2 家族の仕事の分担を表にまとめよう。 (主になる人： \_\_\_\_\_ 手伝う人： \_\_\_\_\_)

	仕事	食事作り	食事片づけ	洗たく	洗たくもの干し	洗たくものたたみ	部屋のそうじ	ふるそうじ	庭そうじ	ごみ出し	買い物	ふとんしき								仕事・勤務	
家族																					

3 上の表から、家族の仕事の分担で気付いたことを書こう。

4 家庭の仕事をどのように分担したらよいだろう。自分ができることも考えよう。

小学校家庭科 第5学年 高齢者

1 題材名 家族とのふれあいを楽しもう

2 本時の目標

家族とのふれあいや団らんには様々な方法があることやその必要性について理解し、計画を立てることができる。

3 人権教育の視点

それぞれの家庭に適した団らんの方法があることに気付き、祖父母を含め、家族と楽しくふれあおうとする態度を育てる。(知性・実践力)

4 生かしたい児童

A：級友への思いやりがあり、高齢者と同居している児童である。家庭での団らんの内容を発表させて、他の児童にも家族のために何かやってみようとする意識をもたせたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">家族みんなが楽しめるふれあい や団らんについて計画を立てよう。</p> </div>	<p>【写真】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族のふれあいの写真を見て、ふれあいや団らんは普段の生活の中で行っていることに気付かせる。</li>   <li>・ A児の発表を聞かせ、どんな内容であればみんなが楽しくなるのか考えさせる。</li> <li>・ 団らんの時の気持ちに触れ、団らんによって心のつながりが深まることに気付かせる。</li> </ul>
<p>2 家で家族と一緒にすごして、楽しかったことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつ</li> <li>・ だれと</li> <li>・ どこで</li> <li>・ 内容</li> </ul>		
<p>3 家族とのふれあいや団らんの計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族がそろう時間</li> <li>・ 家族の好み</li> <li>・ 内容</li> </ul>	<p>【ワークシート】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族構成や家族がそろう時間、好みなどによって、ふれあいや団らんの仕方が違ってくことを理解させ、自分の家庭に合った計画を立てさせるようにする。</li> <li>・ 高齢者と同居している児童に発表させ、高齢者と同居していない児童にも、どんなことが喜ばれるのか気付かせる。</li> </ul>



4 次時の学習内容を確認する。	<p>発表を聞き、家族と楽しくすごそうという意欲を高め、高齢者を大切にしようとする態度につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時では、計画に沿って家庭で実践し、その感想を発表することを伝える。</li> </ul>
-----------------	--

【ワークシート】

家族とのふれあいを楽しもう

5年組 氏名( )

家族とのふれあいや団らんの計画を立てよう。

1 家族について調べよう。

家族がそろう時間・・・

- 家族の好み ( わたし ):
- ( ):
- ( ):
- ( ):
- ( ):
- ( ):
- ( ):
- ( ):

2 家族とのふれあいや団らんの計画を立てよう。

月 日 ( ) 時~	めあて
《団らん内容》	《団らんの流れ》
《用意する物》	
	【工夫すること】

小学校家庭科 第6学年 高齢者

- 1 題材名 自分の生活や地域の生活を見つめてみよう
- 2 本時の目標  
自分の生活と地域が深くかかわっていることに気付き、自分にできることを考えることができる。
- 3 人権教育の視点  
私たちの生活は、地域の高齢者ともかかわりあっていることに気付かせ、高齢者とのかかわりを大切にしていこうとする心情を育てる。(実践力)
- 4 生かしたい児童  
A：何事にも意欲的に取り組んでいて、発言・発表も多い。祖母と同居しており、地域の人々の活動についてよく知っている。地域の人々とのかかわりについて意見を発表させ、話し合い活動を活発にしていきたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">地域の人びととのかかわりを考え、自分が地域のためにできることを見つけよう。</p> </div>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の生活を振り返り、誰とどのようにかかわっているか考えさせ、本時のねらいを確認する。</li> </ul>
<p>2 自分や家族の生活が、地域の人々とどのようなかかわりがあるかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会とのかかわり</li> <li>・ 子供会とのかかわり</li> <li>・ 高齢者の活動とのかかわり</li> </ul>	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自治会、子供会など地域の人々が行っていることを考えさせる。 A児に発表させて、身の回りのどこに目を向けるのか、明確にする。 登下校の安全ボランティア、スクールガード、生活ごみの管理などに高齢者が多くかかわっていることに気付かせる。</li> </ul>
<p>3 地域の生活向上のために自分ができることを考え、発表し合う。</p>	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな人たちとのかかわりによって、自分の生活が成り立っていることに対して、感謝の気持ちをもたせるようにする。</li> <li>・ 地域の人々や高齢者が行っていることを参考に、自分の課題を決めるようにさせる。</li> </ul>

4 次時の学習課題を確認する。		<p>特に身近な高齢者の方々に対してできることを具体的に考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次時は自分の課題をどのように実行するか、計画を立てる学習であることを話す。</li> </ul>
-----------------	--	--

【ワークシート】

自分の生活や地域の生活を見つめてみよう

6年 組 氏名( \_\_\_\_\_ )

地域の人々との生活を大切にするためにできることを考えよう。

1 地域の人々が行っていることについて調べよう。

いつ	だれが	どこで	何をしている

2 地域の人々や生活環境のために自分ができるとは何か考えよう。

中学校技術・家庭科 技術分野 A技術とものづくり 人権一般（環境）

- 1 題材名 技術とものづくりの未来
- 2 本時の目標
 

技術の発達と環境や資源、エネルギーとのかかわりについて調べ、今後の生活での技術の有効な活用方法について考えることができる。
- 3 人権教育の視点
 

豊かで快適な生活や社会を求めてきた結果、環境破壊、資源の枯渇など様々な環境問題が生じていることに気付かせる。（知性）

ものづくりの技術と環境問題とのかかわりに関心を持ち、今後の生活に生かそうとする態度を養う。（実践力）
- 4 生かしたい生徒
 

A：技術への関心が高く知識も身に付いている。話し合い活動においても、自分の考えを積極的に発言している。授業のまとめの段階で、環境を考えたものづくりについて意見を取り上げるようにしていきたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のねらいがわかる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             技術の発達により生じてきた問題点を調べ、生活の中での資源の有効な利用方法を考えよう。           </div>	教科書の資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 回収されたペットボトルから作られた製品を提示し、リサイクルに対する関心を高める。</li> </ul>
2 技術の発達により生活が便利になった反面、環境がどのように悪化してきたか調べる。	【ワークシート】 教科書の資料等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在の生活が、自然から資源を取り出し、大量生産・消費・廃棄を繰り返す中で豊かになってきたことに気付かせる。</li> <li>・ ごみの排出量、製品の廃棄量等の資料から、それらが増加している理由を説明する。 循環型社会の大切さについて考えさせる。</li> </ul>
3 循環型社会の「リサイクル」「リユース」「リデュース」について説明を聞く。	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの言葉の意味の違いについて、具体的な事例をもとに説明する。</li> </ul>

<p>4 リサイクル、リユース、リデュースしている取り組みについて考え、発表する。</p>	<p>教科書の資料等</p>	<p>保守点検や修理をして、できるだけ長く製品を使用していけば、確実に環境への負荷を減らすことができることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>環境を保全するためには循環型社会をつくる必要があることを説明する。</li> </ul>
<p>5 限りある地球の資源を活用し、環境を保全するために自分たちができることを考え、発表する。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>生活に生かしていくことが循環型社会をつくる上で大切であることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の意見に耳を傾け、自分たちの考えと同じ点や違う点を互いに認め合い、自分の考えに生かしていけるよう支援する。</li> </ul>

【ワークシート】

技術とものづくりの未来を考えよう

年 組 氏名

- 1 技術の発達により生活が便利になった反面、地球環境がどのように悪化してきたか調べよう。

地球環境の悪化	<ul style="list-style-type: none"><li>・</li><li>・</li><li>・</li></ul>
---------	---

- 2 循環型社会の3Rの意味とその具体的な取り組みについてまとめよう。

3 R	リサイクル ( )	リユース ( )	リデュース ( )
具 体 的 な 取 組			

- 3 限りある地球の資源を活用し、環境を保全するために自分たちができることを考えよう。

中学校技術・家庭科 技術分野 A技術とものづくり 高齢者・障害者

- 1 題材名 工夫することのすばらしさを知ろう
- 2 本時の目標
 

身の回りの製品の使用目的や使用条件、工夫点を調べて、さまざまな立場で工夫され進歩してきたことがわかる。
- 3 人権教育の視点
 

使用者のことを考えて、さまざまな工夫がされていることがわかる。(知性)  
 幼児や高齢者、体の不自由な人など使用する人のことを考えたものづくりを実践していこうとする態度を養う。(実践力)
- 4 生かしたい生徒
 

A：バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインなどの新しいものづくりへの関心が高く、知識が豊富である。生徒Aの考えを取り上げ、使う人の立場に立ったものづくりについて理解を深めさせたい。
- 5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
1 本時のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">           使う人の立場になって工夫されている新しいものづくりについて考えよう。         </div>	教科書の資料等 【ワークシート】	・ シャンプーとリンスの容器を見せて、使いやすくするために工夫されている点に気付かせる。
2 「バリアフリーデザイン」「ユニバーサルデザイン」の意味について調べる。	【ワークシート】	・ 使用する人の立場に応じて、製品に工夫がなされていることに気付かせる。
3 誰もが使いやすく工夫されている製品にはどのようなものがあるか調べ、発表する。	【ワークシート】	工夫する目的をおさえながら製品を分類することをおして、使う人の立場に立ったものづくりについて考えさせる。
4 人に役立つ製品を考え、発表する。	【ワークシート】	技術分野のものづくり「人に役立つ製品を作ろう」においてどのような工夫ができるか、生徒Aのアイデアを発表させ、他の参考にさせる。
5 本時の学習内容を振り返り、感想をまとめ、次時の学習内容を確認する。		技術の進歩が、高齢者や障害のある人のためにも生かされていることに気付かせる。

【ワークシート】

工夫することのすばらしさを知ろう

年 組 氏名

- 1 シャンプーとリンスの容器にはどんな工夫が加えられているか比較して考えよう。

- 2 バリアフリーデザイン、ユニバーサルデザインの身近な製品

【バリアフリーデザイン】とは	【ユニバーサルデザイン】とは
身近な例	身近な例

- 3 誰もが使いやすく工夫されている製品にはどのようなものがあるか、また、どのような工夫があるか考えよう。

【製品名】	【工夫されている点】

- 4 授業の中でのものづくりにおいて、どのような工夫ができるかアイデアを考えよう。



技術・家庭科 技術分野 B 情報とコンピュータ インターネット

1 題材名 情報伝達の安全性とマナーを考えよう

2 本時の目標

コンピュータを使った情報伝達において注意すべき点について調べ、著作権や個人情報保護の重要性や、情報を扱う上で必要なマナー及び心構えを理解することができる。

3 人権教育の視点

著作権や個人情報の保護などの重要性に気付く（知性）とともに、ネットワーク社会の危険性を知り、人権が守られた安全な利用手段を考えることができる。（実践力）

4 生かしたい生徒

A：コンピュータへの関心が高く知識が豊富である。自らホームページを立ち上げたり、ブログを掲載したりするなど、機器の活用能力とともに情報を扱う上でのマナーも十分身に付けている。話し合い活動において経験から得たことを発表させることで、グループや学級での考えを深めさせる一助にしたい。

5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>インターネットを利用する上での問題点について考え、ネットワーク社会の望ましいあり方を考えよう。</p> </div>	アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット利用に関する事前アンケート結果を提示して、本時のねらいを確認する。</li> </ul>
<p>2 事例1から、情報伝達の問題点と理由について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>事例1 Web ページに個人情報を載せた</p> </div>	<p>【ワークシート】</p> <p>【資料1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>web ページに個人情報を載せたことにより、どんな被害を受けることがあるのか、自分の生活と結びつけて考察できるようにする。</li> <li>個人情報の掲載によって起こりうる問題を箇条書きにし、何が問題かをワークシートに書かせる。 ワールド・ワイド・ウェブの利害についてまとめさせ、web ページによる情報発信は、不特定多数へ向けたものになることを知らせる。</li> </ul>
<p>3 事例2から、情報加工の問題点と理由について考える。</p>	<p>【ワークシート】</p> <p>【資料1】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵や文章を勝手に使われると誰が不利益を被るかを考えさせる。</li> </ul>

<p>事例 2 教科書に載っている絵を無断で コピーして使用している</p>		<p>著作権について触れ、知的財産権として保障されている様々な権利があることを知らせ、それらを不当に侵すことのないようにする責任があることに気付かせる。</p>
<p>4 2つの事例から、インターネットを利用する上で私たちが心がけなければならないことについて考える。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>安全に使うために必要な知識を補足説明し、情報モラルの重要性に気付かせる。</p>
<p>5 情報モラルについての説明を聞く。</p>	<p>【資料 2】</p>	<p>具体的な場面における問題点を知らせる。</p> <p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">           コンピュータウイルス            チェーンメール            ネットショッピング            伝言板や掲示板の利用            ワンクリック詐欺            架空請求         </div> </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書「ネットワーク社会の安全な歩き方」を活用して指導する。</li> </ul>
<p>6 情報を正しく表現したり、発信したりするために、ネットワーク社会のルールや守っていくべきことについてワークシートにまとめる。</p>	<p>【ワークシート】</p>	<p>コンピュータの長所が使い方によっては短所にもなることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートの記述内容から生徒の考えをとらえ、今後の情報の学習や生活に生かすようにする。</li> </ul>

## 6 資料

【資料 1】 (財)消費者教育支援センター 文化庁監修  
「インターネット時代のまんが著作権教室」

【資料 2】 (財)コンピュータ開発教育センター <http://www.cec.or.jp/CEC/>

【ワークシート】

情報伝達の安全性とマナーを考えよう

年 組 氏名

- 1 次の文を読んで、情報伝達の問題点と理由について考えよう。

事例 1

卒業を目前に控えた学級委員のA君は、最近クラスメイトから「～君の住所教えて」などのメールを頻繁にもらっている。そこでA君は、自分のwebページに友達みんなの住所と電話番号を載せてあげれば便利だと思い、住所録ページを作成した。

問題点は、なんだろう。

( )

〔理由〕

( )

- 2 次の文を読んで、情報加工の問題点と理由について考えよう。

事例 2

Bさんは、美術の教科書に載っていたかわいい猫のイラストをコピーして、自分のwebページに貼りつけた。

問題点は、なんだろう。

( )

〔理由〕

( )

- 3 インターネットを利用する上で、私たちが心がけなければならないことは何だろうか。

( )

- 4 情報を正しく表現したり、発信したりするために、ネットワーク社会のルールや守っていくべきことは何だろう。

( )

中学校技術・家庭科 家庭分野 A生活の自立と衣食住 高齢者・障害者

1 題材名 住まいへの願いを確かめよう

2 本時の目標

家族構成や暮らし方に応じて求められる住居の役割を考え、住まい方の工夫を考えることができる。

3 人権教育の視点

幼児や高齢者、障害のある人など、家族構成により住まい方に工夫が必要であることに気付かせ、工夫のポイントを理解させる。(知性)

4 生かしたい生徒

A：祖父母と同居しており、普段から高齢者が暮らしやすい住まいで生活している。  
生徒Aの意見を取り上げることで、他の生徒が生活の工夫について意欲的に考えられるようにしたい。

5 展開例(略案)

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <p>家族構成や暮らし方に応じた住まい方を工夫しよう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>各々の住まいへの願いについて発表させ、本時のねらいを確認する。</li> </ul>
<p>2 間取りの例を見て、高齢者を含む家族構成である時、住まい方をどのようにすればよいか考える。</p>	【ワークシート】	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族は、祖母・父・母・自分・弟の5人家族とする。</li> <li>日当たり、トイレやリビングとの位置関係などを考慮して選択するように助言する。</li> <li>自分だけでなく、家族のことを考えて部屋を選択するようにし、その部屋を選んだ理由も発表できるようにする。</li> </ul> <p>生徒Aに考えを発表させ、他の生徒の考えを深める一助とする。</p> <p>「バリアフリー」ということばの意味を確認し、安全に住むための工夫について補足説明する。</p>
<p>3 家族みんなが気持ちよく住むには、どうしたらいいか考える。</p>	【ワークシート】	
<p>4 本時の学習を振り返り感想をまとめ、次時の学習内容を確認する。</p>		<p>廊下の段差や手すりなど高齢者や障害者と同居する場合の住まい方の工夫についても考えさせるようにする。</p>

【ワークシート】

家族構成や暮らし方に応じた住まい方を考えよう

年 組 氏名( )

・ わたし(13歳)は、祖母(73歳)、父(42歳)、母(40歳)弟(10歳)の5人家族です。

- 1 下の間取りを見て、この家に自分が住むとしたら、どこを居場所にしたいか考えよう。また、そこを選んだ理由も書いてみよう。

w	浴室	台	wc	洋室	自分の居場所(記号で)
c		所		(ウ)	
ろ	リビング		ろ	洋室	選んだ理由
う	(ア)		う	(エ)	
下			下	和室	
玄関	和室			(オ)	
1 階			2 階		
北			南		

- 2 高齢者や障害のある家族と同居する場合の住まい方を考えるとき、どのような点を工夫したらよいか考えよう。

- 3 家族みんなが気持ちよく住むには、どうしたらいいか考えよう。

## 中学校技術・家庭科 家庭分野 B家族と家庭生活 人権一般（基本的人権）

- 1 題材名 消費者を守るしくみを知ろう
- 2 本時の目標  
消費者を守るしくみについて知ることにより、トラブルの回避や解消に役立て、賢い消費者として生活していこうとする意欲をもつことができる。
- 3 人権教育の視点  
消費生活のトラブルを身近な問題としてとらえ、消費者として適切な行動をとろうとする態度を育てる。（知性・実践力）
- 4 生かしたい生徒  
A：発問に対して進んで発言することが多い。また、他の生徒たちはAの発言で新たな発見をすることもあり、Aは自信をもって学習に取り組んでいる。ゲストティーチャーへの積極的な質問をとおして、より適切な行動について考えを深めさせたい。
- 5 展開例（略案）

人権教育上の配慮

学 習 内 容 ・ 活 動	資 料	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">消費者を守るしくみを知り、賢い消費者になるためには何が必要か考えよう。</p> </div> <p>2 様々な消費者トラブルについての説明を聞く。</p> <p>3 消費者トラブルを解決するための方策について考える。</p> <p>4 消費生活センター職員をゲストティーチャーに迎え、実際に役割演技してどのように対処したらよいか考える。</p>	<p>【資料1】</p> <p>【資料2】</p> <p>教科書の 実習例等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時で学習した消費者トラブルについて内容を振り返り、本時の学習課題を確認する。</li> <li>・ キャッチセールス・アポイントメント商法・マルチ商法等に関するトラブルについて説明する。</li> <li>・ 「クーリング・オフ制度」、「消費生活センター」について要点をまとめた資料を示し、どのように利用すればよいか説明する。</li> <li>・ 消費生活センターについて、所在場所とはたらきを知らせる。 個人情報保護は、人権を尊重していく上で大切なことであることを説明する。（個人情報保護法）</li> </ul> <p style="margin-top: 20px;">生徒Aと消費生活センター職員の方の役割演技をとおして、購入契約してしまった後の解決方法について考えさせる。</p>

5 本時の学習内容を振り返る。		賢い消費者として、今後どのような態度で生活していけばよいか考えさせる。
-----------------	--	-------------------------------------

## 6 資料

### 【資料1】

#### クーリング・オフ制度

クーリング・オフ制度とは

消費者がいったん申し込みや契約をした場合でも、契約の内容を明らかにした書面を受けた一定期間は、消費者からの一方的な申し込み撤回や契約解除を認める制度。

クーリング・オフ制度の期間

解約できる期間は販売方法によって異なる。(書面交付の当日から計算する)

訪問販売・キャッチセールス・アポイントメントセールス	8日間
マルチ商法	20日間

クーリング・オフの方法

法律で「クーリング・オフは書面で通知する」と決められている。これは、クーリング・オフされたかどうかをめぐって、業者との間で争いになるのを避けるため。また、ハガキは、両面コピーをとって保管しておく。

[ハガキのサンプル]

氏名	住所	平成 年 月 日	宛に振り込んでください。商品はすぐに引き取ってください。	通口座の( )	円を	銀行	支店(普	通)	支店(普	通)	契約解除通知
<p>左記の契約を解除します。</p> <p>記</p> <p>一 契約年月日</p> <p>二 商品名</p> <p>三 契約金額</p> <p>四 締結場所</p> <p>なお、支払額の</p>											

クーリング・オフができない場合

通信販売(インターネットも含む)

3,000円未満の現金取引

消耗品を一部使ってしまったとき

店舗で購入したもの

### 【その他の参考資料】

開隆堂出版株式会社 指導書 P69~70

開隆堂教科書 P211

## 【資料 2】

### 消費生活センター

消費生活センターとは  
消費者に身近な公共の相談機関。

#### 消費生活センターのはたらき

- ・ 消費者への情報提供
- ・ 消費者がトラブルにあったとき相談にのる
- ・ 新商品のテスト

#### 栃木県消費生活センターでは

上記のはたらきのほかに、悪質商法などの被害を未然に防止するための講座、ビデオの貸し出しを行っている。

### 【その他の参考資料】

開隆堂教科書 P 2 1 3

<http://www.pref.tochigi.jp/bunka/index0.html>



## 第3章 各学校で人権教育を推進するために

栃木県教育委員会では、昭和55年から人権教育（平成13年度までは同和教育）を推進していくための様々な指導資料を作成しています。この章では、平成13年から18年発行の資料を簡単に紹介し、人権教育を推進していく上での活用方法を示します。

### 1 人権教育全体計画の立案や人権教育のすすめ方を知るには

平成14年3月発行 「人権教育のすすめ方」

#### (1) p 2 「本県の目指す人権教育」

- ・栃木県人権教育基本方針 平成14年4月1日実施

#### (2) p 3 「同和教育と人権教育との違い」

- ・指導内容が拡大され、人権教育とは学校の教育活動全体を通じて人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動である。

#### (3) p 16 「学校経営に人権教育をどのように位置付けたらよいか」

- ・人権教育を学校経営の方針に明確に位置付け、重点内容、努力点、具体策を示し、日常の教育活動で機能させる。

#### (4) p 18 「人権教育の全体計画をどのように作成したらよいか」

- ・全体計画作成の意義を理解し、学校、地域の実情などに応じて学校の独自性を生かした計画を作成する。（作成の手順は資料に細かく掲載されている。）

#### (5) p 20 「各教科の指導計画と人権教育をどう関連させたらよいか」

- ・各教科の単元や題材等を人権という視点から見直し、内容、能力・態度の両面から指導計画に位置付ける。（内容面、能力・態度面での例示が掲載されている。）

#### (6) p 22 「校内研修の内容・方法にはどのようなものがあるか」

- ・各学校の人権教育の課題に基づいた研修計画を立案し、研修の場を確保する。  
（「認識を深めるための研修」「課題を明らかにするための研修」「課題解決のための研修」の内容と研究授業の参考となるテーマが示されている。）

#### (7) p 25 「保護者への啓発はなぜ必要か、方法はどのようなものがあるか」

- ・学校での人権教育の内容を理解してもらい、家庭教育との連携を図るとともに、保護者にも人権問題を自らの課題としてとらえてもらう機会とする。  
（啓発の方法について様々な具体例が掲載されている。）

平成15年3月発行 「様々な人権問題に関する指導資料集」

p 1 ~ 10 「全体計画作成の仕方」(次のような手順が示されている。)

- 法律・答申の押さえ方
- 実態の把握の仕方
- 目標の作り方と具体的な例
- 学年別の目標設定の仕方
- 課題設定の仕方
- 人権教育と各教科等との関連の図り方

## 2 人権教育推進のための資料を得るには

平成15年3月発行 「様々な人権問題に関する指導資料集」

### (1) 同和問題 p 17 ~ 25

- 「解放令」: 1872年、制度上の身分差別からの解放
- 「喜びで迎えられた解放令」: 解放令が伝えられ、喜ぶ人々のようす
- 「水平社宣言」: 1922年、全国水平社創立大会での自由と平等を取り戻すための宣言
- 「今、光っていたい娘の遺してくれたもの」: 結婚差別を考える際の資料
- 「栃木県人権・同和問題意識調査から」: 同和問題に関する調査結果のグラフ
- 「消えない同和地区への差別」: 結婚差別に関する新聞への投書

### (2) 女性の人権 p 26 ~ 29

- 「男だから、女だから」: ジェンダーについての作文(人権に関する文集第18集)
- 「あなたの心の中をジェンダーチェック」: ジェンダーに関する二択式のチェック表
- 「職業に関する男女差」: 産業別、職業別の男女の比率に関するグラフなど

### (3) 子どもの人権 p 30 ~ 34

- 「子どもの権利条約」: 主な条文を分かりやすく書き直したもの
- 「子どもの権利条約成立までの経緯」: 1924[ジュネーブ宣言]~1994年の日本批准まで
- 「小学校に入学した子どもが卒業できる割合」: 世界地図に示した統計資料
- 「学校に通っていない子どもの割合」: 世界の地域別統計資料
- 「学校に行けない子どもたち」: 働く少年、少年兵士、難民の子どもの写真資料

### (4) 高齢者の人権 p 35 ~ 38

- 「世界の高齢化率の推移」: 日本、近隣の国、先進地域、発展途上地域に関するグラフ
- 「高齢者の人権問題」: 高齢者に関する人権問題として挙げられたこと
- 「児童生徒の高齢者に対する意識」: 高齢者との交流活動に関する意識調査のグラフ
- 「寂しさの影に」: 祖母と家族との関係を題材に中学1年生が書いた人権作文

**(5) 障害者の人権 p 39 ~ 45**

- 「やさしさに囲まれて...」: 障害のあるA子さんの小・中・養護学校での生活
- 「私の話を聞いてください」: 日木流奈さん(脳障害をもつ子)の詩(「流奈詩集より」)
- 「いろいろな人がいろいろな役目を」: 同上の作文(「人が否定されないルール」より)
- 「入場断った映画館、本紙投書に反響」: 障害のある男性に関する新聞記事

**(6) アイヌの人々の人権 p 46 ~ 51**

- 「アイヌについて、アイヌの歴史」: 竹内渉氏の講演を基に作成、歴史を簡単に紹介
- 「アイヌの言葉」「アイヌ文様」: アイヌ独自の伝統的な文化を理解するための資料
- 「ウタリ生活実態調査」「具体的な差別事象」: アイヌの人々の生活実態に関する資料
- 「コラム 国際先住民年」: 国連総会が先住民族が直面する課題解決のために設定
- 「アイヌ文化振興法」: 法体系上、アイヌの人々をはじめて民族として認めた法律

**(7) 外国人の人権 p 52 ~ 55**

- 「台湾ホームレスの母 清水照子」: 台湾で「ホームレスの母」と讃えられた日本人
- 「日本の二人のおじいさん」: 中国からの留学生と日本の二人のおじいさんの交流
- 「日本人と日本に住む外国人の意識調査より」: 差別や偏見に関する意識の差

**(8) HIV感染者やハンセン病患者及び元患者の人権 p 56 ~ 62**

- 「偏見・病魔と闘った少年」: 米国人ライアン・ホワイト君の手記(新聞記事より)
- 「エイズに関するアンケート」: HIVの理解と感染者についての考えを深めるアンケート
- 「レッドリボンってなあに?」: レッドリボンはエイズに対する理解と支援の象徴
- 「ハンセン病とは」「ハンセン病は治る病気です」「もう俯かないでいい」  
: ハンセン病に対する無知や偏見をなくし、正しく理解するための資料

**(9) インターネットによる人権侵害 p 63 ~ 67**

- 「電子掲示板への書き込み」: インターネット電子掲示板への差別的な落書きの例
- 「ネチケット」: ネットワーク上のマナーやエチケットを考える際の参考資料
- 「電気通信サービスに関する苦情・相談受付数」: 相談件数の増大を示す資料
- 「オンラインマーク制度」: インターネット通信販売の促進と消費者保護のマーク
- 「プライバシーマーク制度」: 個人情報の保護が適切である企業に付与されるマーク

**(10) 人権一般 p 68 ~ 74**

- 「世界人権宣言50周年のシンボルマーク」: 世界平和と生命の尊厳を象徴したマーク
- 「さあ、やってみよう人権クイズ」: 各種施設に設けられたマーク等に関するクイズ
- 「あなたの子どもはこんな絵を描きますか?」: アフガン難民の子どもが描いた絵
- 「少年兵」: 世界で約25万人いるといわれる少年兵(写真資料)
- 「世界の平和を考えるワークシート」: 子どもに平和の意味を問い直すワークシート
- 「田中正造と足尾銅山鉍毒事件」: 正造の人権に関する考え方がわかる資料

### 3 道徳・特活等で参加体験型の人権学習を展開するには

平成13年3月発行「人権学習展開事例集 - 参加体験型の学習を中心に - 」

(1) p 3 「参加体験型学習とは」

(2) p 4 「参加体験型学習の意義」

(3) p 4 「参加体験型学習の展開」

(4) p 10 ~ 「参加体験型の人権学習展開事例」

あべこべの世界に出かけよう 小学校高学年（男女平等）

男女のちがいを考えよう 中学校全学年（男女平等）

友達のよいところ見つけた 小学校中・高学年（子どもの人権）

権利について考えよう 中学校全学年（子どもの人権）

いじめをなくそう 小学校中・高学年（子どもの人権）

高齢者の暮らしやすい家、町をつくろう 小学校中・高学年（高齢者の人権）

高齢者とのかかわり方を考えよう 中学校全学年（高齢者の人権）

文化祭で高齢者と交流しよう 中学校全学年（高齢者の人権）

目隠し歩行をしよう 小学校中学年（障害者の人権）

障害者の立場から身近な環境を見直そう 中学校全学年（障害者の人権）

自分たち流の「水平社宣言」をつくろう 中学校社会2年（同和問題）

身近にある施設を訪問しよう 中学校3年総合（人権一般）

国のウー族と 国のエー族との出会い 小学校高学年（外国人の人権）

外国から来た人と遊ぼう 小学校高学年（外国人の人権）

私の中の外国 中学校1年（外国人の人権）

HIV感染者・エイズ患者との共生を考える 中学校3年（HIV感染者の人権）

自分の気持ち・相手の気持ち 小学校高学年（人間関係づくり）

周りの人とのかかわり方を考えよう 中学校2年（人間関係づくり）

人権集会を開こう 中学校全学年（人権というコンセプトをもった集会）

人権集会 中学校1年（人権というコンセプトをもった集会）

### 4 各教科の授業で扱うことができる人権問題に関連する題材を探すには

平成16・17年3月発行「人権問題に関連する学習内容・学習活動一覧」

(1) 平成16年度版 - 国語、社会、算数・数学、理科、生活、外国語（英語）

(2) 平成17年度版 - 音楽、図画工作、美術、体育、保健体育、家庭、技術・家庭

## 5 各教科の授業で人権学習を具体的に展開するには

平成18年3月発行「各教科の授業における人権学習展開事例集  
- 国語、算数・数学、理科、生活、外国語（英語）編 - 」

### 国語科

- 小学校 第1学年 「じゃんけん」(外国人) P4  
第3学年 「もうどう犬の訓練」(障害者) P7  
中学校 第1学年 「そこに僕はいた」(障害者) P9  
第2学年 「小さな労働者」(子ども) P11

### 社会科

- 小学校 第3学年 「スーパーマーケットをたんけんしよう」(障害者) P13  
第5学年 「公害をふせぐための努力と対策」(人権一般・環境) P15  
第6学年 「水平社運動」(同和問題) P18  
中学校 第2学年 「日本の人口の変化と特色」(高齢者) P24  
第2学年 「四民平等」(同和問題) P27  
第3学年 「現代社会に残る差別」(同和問題) P32

### 算数・数学科

- 小学校 第5学年 「ご石の数え方」(障害者) P37  
中学校 第2学年 「点字で数学しよう」(障害者) P40

### 理科

- 小学校 第5学年 「動物のたんじょう(ヒトのたんじょう)」(人権一般・生命尊重) P44  
中学校 第3学年 「生物のふえかた」(人権一般・個人の尊重) P47

### 生活科

- 小学校 第2学年 「もっとまちをしりたいね」(障害者) P51

### 英語科

- 中学校 第2学年 「Program 4 With Love and with Joy part 1」(子ども) P53  
第3学年 「Unit 1 Let's Learn Braille part 3」(障害者) P55

平成19年3月発行「各教科の授業における人権学習展開事例集  
- 音楽、図画工作、美術、体育、保健体育、家庭、技術・家庭 編 - 」  
本資料をご活用ください。

## お わ り に

本年度は、各教科の授業における人権教育の充実を目指して、音楽、図画工作、美術、体育、保健体育、家庭、技術・家庭の資料を作成しました。教職員の皆様には、これまでに発行された他の指導資料と併せて活用していただき、今後の本県人権教育の推進に役立てていただければ幸いです。

### [ 作成委員 ]

塩谷由里子	(宇都宮市立雀宮南小学校)	教諭
竹澤 明子	(鹿沼市立東小学校)	教諭
菊池 文子	(野木町立野木小学校)	教諭
阿部 文子	(足利市立桜小学校)	教諭
中里 恵子	(上三川町立上三川中学校)	教諭
小森 昌弘	(真岡市立真岡東中学校)	教諭
小池 正夫	(矢板市立矢板中学校)	教諭
荒垣 悦雄	(那須塩原市立三島中学校)	教諭
三尾谷久代	(那須烏山市立荒川中学校)	教諭
小林 智	(河内教育事務所)	副主幹
石川 雅子	(上都賀教育事務所)	副主幹
齊藤 正幸	(芳賀教育事務所)	指導主事
光野公司郎	(下都賀教育事務所)	指導主事
鈴木 厚子	(塩谷教育事務所)	指導主事
丑越 薫	(那須教育事務所)	指導主事
小川 孝博	(南那須教育事務所)	指導主事
島田 悦男	(安足教育事務所)	指導主事

なお、栃木県教育委員会事務局においては、次の者が企画・編集に参画した。

学校教育課	課長	宇田 貞夫
	副主幹(グループリーダー)	高橋 哲也
総務課人権教育室	副主幹	高野 孝夫
学校教育課	副主幹	菊地 明男